令和元年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

中之島 【参考資料②】

施設名：大阪府立中之島図書館

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価基準（内容） | 施設所管課評価 | 評価委員の指摘・提言 | 改善のための対応方針 | 次年度以降の事業計画等への反映内容 |
| Ⅰ提案の履行状況に関する項目(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | ①施策に取り組んだ結果、利用者の増加に反映されているか　〇令和元年度目標　入館者数 :352,282人（平成30年度実績：346,282人）②提案された情報発信プランに沿った広報が実施されているか〇HP更新回数　令和元年度目標：111回（平成30年度実績：105回）〇HPアクセス回数　令和元年度目標：40,793回（平成30年度実績：44,422回）〇SNS発信回数　令和元年度目標：250回（平成30年度実績：258回）〇SNSフォロワー数　令和元年度目標：154人増加（平成30年度実績：154人）③多目的スペースの利用について、施設のコンセプトに合った活用方法を提示し、目標利用率・目標収入額の達成のための取組みが適切に実施されているか〇有料利用稼働率　令和元年度目標：10.63％（平成30年度実績：10.39％）〇収入額　令和元年度目標 ：1,483千円（平成30年度実績：1,396千円） | Ａ | 府の図書館事業と連携し、多目的スペースの稼働率をさらに増加させるための取組を実施してはどうか。 | 府の図書館事業と積極的に連携を図り、多目的スペースの稼働率のさらなる増加を目指す。 | 利用案内について写真等を用いて利用方法をわかりやすく提案できるよう工夫し、図書館司書部が実施する文化事業参加者等に対して積極的に広報を実施する等活用を促す。 |
| Ⅱさらなるサービスの向上に関する事項(1)利用者満足度調査等 | 利用者満足度調査を実施し、分析結果をフィードバックしているか | Ａ | 利用者満足度調査の項目に、図書館及び中之島エリアの魅力向上に資する取組み・情報発信についての項目を追加し、利用者からの意見を聞くようにしてはどうか。 | 図書館及び中之島エリアの魅力向上に資する取組み・情報発信に関する項目を利用者満足度調査に盛り込む。 | 利用者満足度調査に図書館及び中之島エリアの魅力向上に資する取組み・情報発信の項目を追加し、分析結果をその後の取組み、情報発信にフィードバックできるようにする。 |
| 評価全般について | 現状を的確に評価できるよう四段階評価の評価区分や目標値の設定について工夫するとともに、定性評価にあたっては、四段階評価の理由が明確になるよう記載すること。 | 次年度の評価票作成に向け、評価の区分・目標値の設定方法について検討を行う。また、評価時には四段階評価の判断根拠について、評価内容の記載および補足資料等により明確とするよう留意する。 | 評価の決定区分・目標値の設定方法について現状を的確に評価できるよう検討し、次年度以降の評価票に反映させる。評価時には、四段階評価の根拠が明確になるよう、評価内容に記載するほか、必要に応じ補足資料を作成する。 |